

GIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末整備 キットニングについて



「GIGAスクール構想の実現」に向けた児童生徒1人1台端末の整備事業において、「端末のキットニングに時間がかかり納品が遅れる」という声を多く聞きます。また、キットニングにかかる時間は設定を依頼する内容にもよって変わってきます。キットニングにかかる時間が妥当か判断するため、またより早く納品してもらうために必要最低限の設定依頼内容が何かの参考にしていただくために、「キットニングとはどのような作業か」、OSごとのシンプルなキットニング事例をご紹介します。

一般的なキットニングの例

運用設計

テナントの取得

IDの作成

OSの更新

MDMへの
端末の登録

アプリケーションの
プリインストール

ネットワークの
設定

端末への
ID登録

...

配布

運用設計では、端末に何をどのように設定するかを教育委員会と事業者で決めていきます。クラウド利用をベースとした1人1台端末の導入とこれまでのPC教室の端末導入とは運用が異なることを十分理解し、設計していく必要があります。

具体的なキットニングの内容については、OSごとに事例をご紹介します。